



clear configure コマンド～ clear configure zonelabs-integrity コマンド

clear configure

実行コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure** コマンドを使用します。

```
clear configure {primary | secondary | all | command}
```

シンタックスの説明

<i>command</i>	指定したコマンドのコンフィギュレーションを消去します。詳細については、このマニュアルの各 clear configure <i>command</i> コマンドの個々のエントリを参照してください。
<i>primary</i>	次のコマンドを含む、接続性に関連するコマンドを消去します。 <ul style="list-style-type: none">• tftp-server• shun• route• ip address• mtu• failover• monitor-interface• boot
<i>secondary</i>	(<i>primary</i> キーワードを使用して消去される) 接続に関連するコマンド以外のコマンドを消去します。
<i>all</i>	実行コンフィギュレーション全体を消去します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン

このコマンドをセキュリティ コンテキストで入力する場合は、コンテキスト コンフィギュレーションだけが消去されます。このコマンドをシステム実行スペースで入力する場合は、すべてのコンテキスト実行コンフィギュレーションに加えてシステム実行コンフィギュレーションも消去されます。システム コンフィギュレーション内のすべてのコンテキスト エントリが消去されるため (**context** コマンドを参照)、コンテキストは実行されず、コンテキスト実行スペースに移動できなくなります。

コンフィギュレーションを消去する前に、(スタートアップ コンフィギュレーションの場所を指定する) **boot config** コマンドへのすべての変更をスタートアップ コンフィギュレーションに保存します。スタートアップ コンフィギュレーションの場所を実行コンフィギュレーション内だけで変更した場合は、再起動時にコンフィギュレーションはデフォルト位置からロードされます。

例

次の例では、実行コンフィギュレーション全体を消去します。

```
hostname(config)# clear configure all
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure http	指定した HTTP(S) URL からのコンフィギュレーション ファイルを実行コンフィギュレーションとマージします。
configure memory	スタートアップ コンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションとマージします。
configure net	指定した TFTP URL からのコンフィギュレーション ファイルを実行コンフィギュレーションとマージします。
configure factory-default	CLI で入力するコマンドを実行コンフィギュレーションに追加します。
show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。

clear configure aaa

aaa コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure aaa** コマンドを使用します。**clear configure aaa** コマンドは、コンフィギュレーションから AAA コマンド文を削除します。

clear configure aaa

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI 内の一貫性のために、このコマンドが修正されました。

使用上のガイドライン また、このコマンドは、AAA パラメータが存在する場合リセットしてデフォルト値にします。元に戻すことはできません。

例 `hostname(config)# clear configure aaa`

関連コマンド	コマンド	説明
	aaa accounting	ユーザがアクセスしたネットワーク サービスのレコードの保持をイネーブル化、ディセーブル化、または表示します。
	aaa authentication	aaa-server コマンドで指定されたサーバ上での、LOCAL、TACACS+、または RADIUS のユーザ認証、または ASDM ユーザ認証をイネーブル化または表示します。
	aaa authorization	aaa-server コマンドで指定した LOCAL または TACACS+ サーバのユーザ認可、あるいは ASDM ユーザ認証のユーザ認可をイネーブルまたはディセーブルにします。
	show running-config aaa	AAA コンフィギュレーションを表示します。

clear configure aaa-server

すべての AAA サーバ グループを削除、または指定したグループを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure aaa-server** コマンドを使用します。

```
clear configure aaa-server [server-tag]
```

```
clear configure aaa-server [server-tag] host server-ip
```

シンタックスの説明

<i>server-ip</i>	AAA サーバの IP アドレス。
<i>server-tag</i>	(オプション) 消去するサーバグループの識別名。

デフォルト

すべての AAA サーバ グループを削除します。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン

特定の AAA サーバ グループ、またはデフォルトで、すべての AAA サーバ グループを指定できます。

サーバ グループ内の特定のサーバを指定するには、**host** キーワードを使用します。

また、このコマンドは、AAA サーバ パラメータが存在する場合リセットしてデフォルト値にします。

例

```
hostname(config)# aaa-server svrgrp1 protocol sdi
hostname(config)# aaa-server svrgrp1 host 1.2.3.4
hostname(config-aaa-server)# timeout 9
hostname(config-aaa-server)# retry 7
hostname(config-aaa-server)# sdi-version sdi-5
hostname(config-aaa-server)# exit
```

上記のコンフィギュレーションで、次のコマンドは、グループから特定のサーバを削除する方法を示しています。

```
hostname(config)# clear config aaa-server svrgrp1 host 1.2.3.4
```

次のコマンドは、1つのサーバ グループを削除する方法を示しています。

```
hostname(config)# clear config aaa-server svrgrp1
```

次のコマンドは、すべてのサーバグループを削除する方法を示しています。

```
hostname(config)# clear config aaa-server
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa-server host	ホスト固有の AAA サーバ接続データを指定および管理します。
aaa-server protocol	すべてのホストに共通する、グループ固有の AAA サーバパラメータを設定できます。
show running-config aaa	他の AAA コンフィギュレーション値と共に、ユーザ 1 人あたりに許可する同時プロキシ接続の現在の最大数を表示します。

clear configure access-group

すべてのインターフェイスからアクセスグループを削除するには、**clear configure access-group** コマンドを使用します。

```
clear configure access-group
```

シンタックスの説明

このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>configure</i> が追加されました。

例

次の例では、すべてのアクセスグループを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure access-group
```

関連コマンド

コマンド	説明
access-group	アクセス リストをインターフェイスにバインドします。
show running-config access-group	現在のアクセスグループ コンフィギュレーションを表示します。

clear configure access-list

実行コンフィギュレーションからアクセス リストを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure access-list** コマンドを使用します。

```
clear configure access-list [id]
```

シンタックスの説明

id (オプション) アクセス リストの名前または番号。

デフォルト

実行コンフィギュレーションからすべてのアクセス リストが消去されます。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン

clear configure access-list コマンドを実行すると、**crypto map** コマンドまたはインターフェイスからアクセス リストが自動的にアンバインドされます。**crypto map** コマンドからアクセス リストをアンバインドすると、パケットがすべて廃棄される状態になる可能性があります。これは、アクセス リストを参照している **crypto map** コマンドが不完全なものになるためです。この状態を解消するには、別の **access-list** コマンドを定義して **crypto map** コマンドを完全なものにするか、**access-list** コマンドに関する **crypto map** コマンドを削除します。詳細については、**crypto map client** コマンドの項を参照してください。

例

次の例では、実行コンフィギュレーションからアクセス リストを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure access-list
```

関連コマンド

コマンド	説明
access-list extended	アクセス リストをコンフィギュレーションに追加し、ファイアウォールを通過する IP トラフィック用のポリシーを設定します。
access-list standard	アクセス リストを追加して、OSPF 再配布のルートマップに使用できる、OSPF ルートの宛先 IP アドレスを指定します。
clear access-list	アクセス リスト カウンタを消去します。
show access-list	アクセス リストのカウンタを表示します。
show running-config access-list	セキュリティ アプライアンスで実行されているアクセス リスト コンフィギュレーションを表示します。

clear configure alias

コンフィギュレーションからすべての **alias** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure alias** コマンドを使用します。

clear configure alias

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	既存	このコマンドは既存のものです。

例 次の例では、コンフィギュレーションからすべての **alias** コマンドを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure alias
```

関連コマンド	コマンド	説明
	alias	1つのアドレスを別のアドレスに変換します。
	show running-config alias	コンフィギュレーション内の、デュアル NAT コマンドで使用する重複アドレスを表示します。

clear configure arp

arp コマンドで追加したスタティック ARP エントリを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure arp** コマンドを使用します。

clear configure arp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、コンフィギュレーションからスタティック ARP エントリを消去します。

```
hostname# clear configure arp
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp	スタティック ARP エントリを追加します。
arp-inspection	透過ファイアウォール モードで、ARP パケットを調べて ARP スプーフィングを防止します。
firewall transparent	ファイアウォール モードを透過に設定します。
show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。
show running-config arp	ARP タイムアウトの現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure arp-inspection

ARP 検査のコンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure arp-inspection** コマンドを使用します。

clear configure arp-inspection

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、ARP 検査のコンフィギュレーションを消去します。

```
hostname# clear configure arp-inspection
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp	スタティック ARP エントリを追加します。
arp-inspection	透過ファイアウォール モードで、ARP パケットを調べて ARP スプーフィングを防止します。
firewall transparent	ファイアウォール モードを透過に設定します。
show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。
show running-config arp	ARP タイムアウトの現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure asdm

実行コンフィギュレーションからすべての **asdm** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure asdm** コマンドを使用します。

clear configure asdm [*location* | *group* | *image*]

シンタックスの説明

group	(オプション) 実行コンフィギュレーションから asdm group コマンドだけを消去します。
image	(オプション) 実行コンフィギュレーションから asdm image コマンドだけを消去します。
location	(オプション) 実行コンフィギュレーションから asdm location コマンドだけを消去します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear pdm コマンドが clear configure asdm コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン

実行コンフィギュレーション内の **asdm** コマンドを表示するには、**show running-config asdm** コマンドを使用します。

コンフィギュレーションから **asdm image** コマンドを消去すると、ASDM アクセスがディセーブルになります。コンフィギュレーションから **asdm location** コマンドおよび **asdm group** コマンドを消去すると、次にアクセスされたときに ASDM によってこれらのコマンドが再生成されますが、アクティブな ASDM セッションが妨げられることがあります。



(注)

マルチ コンテキスト モードで実行されているセキュリティ アプライアンスでは、**clear configure asdm image** コマンドはシステム実行スペースでのみ使用できます。一方、**clear configure asdm group** コマンドおよび **clear configure asdm location** コマンドは、ユーザ コンテキストでのみ使用できます。

例

次の例では、実行コンフィギュレーションから **asdm group** コマンドを消去します。

```
hostname(config)# clear configure asdm group
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
asdm group	オブジェクト グループ名をインターフェイスに関連付けるために ASDM によって使用されます。
asdm image	ASDM イメージファイルを指定します。
asdm location	IP アドレスをインターフェイス アソシエーションに記録するために ASDM によって使用されます。
show running-config asdm	実行コンフィギュレーション内の asdm コマンドを表示します。

clear configure auth-prompt

指定済みの認証プロンプト チャレンジ テキストを削除し、デフォルト値に戻すには（存在する場合）、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure auth-prompt** コマンドを使用します。

clear configure auth-prompt

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI 規格に適合するように、このコマンドが修正されました。

使用上のガイドライン 認証プロンプトを消去した後、ユーザのログイン時に表示されるプロンプトは、使用するプロトコルによって次のように異なります。

- HTTP を使用してログインするユーザの場合、HTTP Authentication が表示されます。
- FTP を使用してログインするユーザの場合、FTP Authentication が表示されます。
- Telnet を使用してログインするユーザの場合、プロンプトは表示されません。

例 次の例では、認証プロンプトを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure auth-prompt
```

関連コマンド

auth-prompt	ユーザ認可プロンプトを設定します。
show running-config auth-prompt	ユーザ認可プロンプトを表示します。

clear configure banner

すべてのバナーを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure banner** コマンドを使用します。

clear configure banner

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、バナーを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure banner
```

関連コマンド	コマンド	説明
	banner	セッション バナー、ログイン バナー、および「今日のお知らせ」バナーを設定します。
	show running-config banner	すべてのバナーを表示します。

clear configure ca certificate map

証明書マップ エントリをすべて削除、または指定した証明書マップ エントリを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ca configurate map** コマンドを使用します。

clear configure ca certificate map [*sequence-number*]

シンタックスの説明

sequence-number (オプション) 削除する証明書マップ規則の番号を指定します。範囲は 1 ～ 65535 です。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、すべての証明書マップ エントリを削除します。

```
hostname(config)# clear configure ca certificate map
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca certificate map	CA 証明書マップ モードに入ります。

clear configure class

リソース クラスのコンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure class** コマンドを使用します。

clear configure class

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、クラス コンフィギュレーションを消去しています。

```
hostname(config)# clear configure class
```

関連コマンド

コマンド	説明
class	リソース クラスを設定します。
context	セキュリティ コンテキストを設定します。
limit-resource	クラスに対してリソース制限を設定します。
member	リソース クラスにコンテキストを割り当てます。
show class	クラスに割り当てられているコンテキストを表示します。

clear configure class-map

すべてのクラス マップを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure class-map** コマンドを使用します。

```
clear configure class-map [type {management | regex | inspect [protocol]}]
```

シンタックスの説明

inspect	(オプション) 検査クラス マップを消去します。
management	(オプション) 管理クラス マップを消去します。
protocol	(オプション) 消去するアプリケーション マップのタイプを指定します。指定できるタイプは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • dns • ftp • h323 • http • im • p2p-donkey • sip
regex	(オプション) 正規表現クラス マップを消去します。
type	(オプション) 消去するクラス マップのタイプを指定します。レイヤ 3/4 クラス マップを消去する場合は、タイプを指定しません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

特定のクラス マップ名のクラス マップを消去するには、**class-map** コマンドの **no** 形式を使用します。

例

次の例では、設定済みのクラス マップをすべて消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure class-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	トラフィック クラスをインターフェイスに適用します。
show running-config class-map	クラス マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure client-update

クライアント アップデートを強制する機能をコンフィギュレーションから削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたはトンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション モードで **clear configure client-update** コマンドを使用します。

clear config client-update

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
トンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。
7.1(1)	トンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション モードが追加されました。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、コンフィギュレーションから client-update 機能を削除します。

```
hostname(config)# clear config client-update
hostname(config)#
```

トンネル グループ ipsec アトリビュート コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、test という名前のトンネル グループのコンフィギュレーションから client-update 機能を削除します。

```
hostname(config)# tunnel-group test ipsec-attributes
hostname(config-tunnel-ipsec)# clear config client-update
hostname(config-tunnel-ipsec)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
client-update	client-update を設定します。
show running-config client-update	現在の client-update コンフィギュレーションを表示します。

clear configure clock

クロック コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure clock** コマンドを使用します。

clear configure clock

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear clock がこのコマンドに変更されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、すべての **clock** コンフィギュレーション コマンドを消去します。**clock set** コマンドはコンフィギュレーション コマンドではないため、このコマンドではクロックはリセットされません。クロックをリセットするには、**clock set** コマンドに新しい時間を設定する必要があります。

例 次の例では、すべてのクロック コマンドを消去します。

```
hostname# clear configure clock
```

関連コマンド

コマンド	説明
clock set	時間を手動で設定します。
clock summer-time	夏時間を表示する日付範囲を設定します。
clock timezone	時間帯を設定します。

clear configure command-alias

デフォルト以外のコマンドエイリアスをすべて削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで *clear configure command-alias* コマンドを使用します。

clear configure command-alias

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドに使用上のガイドラインはありません。

例 次の例では、デフォルト以外のコマンドエイリアスをすべて削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure command-alias
```

関連コマンド	コマンド	説明
	command-alias	コマンドエイリアスを作成します。
	show running-config command-alias	デフォルト以外のコマンドエイリアスをすべて表示します。

clear configure compression

グローバル圧縮コンフィギュレーションをデフォルト（すべての圧縮技術はイネーブル）にリセットするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure compression** コマンドを使用します。

clear configure compression

デフォルト

このコマンドには、デフォルトの動作はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1.1	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、圧縮コンフィギュレーションが消去されます。

```
hostname#(config) clear configure compression
```

関連コマンド

コマンド	説明
compression	すべての SVC 接続、WebVPN 接続、およびポート転送接続に対して圧縮をイネーブルにします。
svc compression	SVC 接続上の http データの圧縮を特定のグループまたはユーザに対してイネーブルにします。

clear configure console

コンソール接続の設定をデフォルトにリセットするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure console** コマンドを使用します。

clear configure console

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、コンソール接続の設定をデフォルトにリセットする方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure console
```

関連コマンド	コマンド	説明
	console timeout	セキュリティ アプライアンスへのコンソール接続のアイドルタイムアウトを設定します。
	show running-config console timeout	セキュリティ アプライアンスへのコンソール接続のアイドルタイムアウトを表示します。

clear configure context

システム コンフィギュレーションのすべてのコンテキスト コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure context** コマンドを使用します。

clear configure context [*noconfirm*]

シンタックスの説明

noconfirm (オプション) 確認を求めるプロンプトを表示せずにすべてのコンテキストを削除します。このオプションは、自動スクリプトに役立ちます。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用すると、管理コンテキストを含むすべてのコンテキストを削除できます。管理コンテキストは **no context** コマンドを使用して削除することはできませんが、**clear configure context** コマンドを使用して削除できます。

例

次の例では、システム コンフィギュレーションからすべてのコンテキストを削除し、削除を確認しません。

```
hostname(config)# clear configure context noconfirm
```

関連コマンド

コマンド	説明
admin-context	管理コンテキストを設定します。
changeto	コンテキスト間またはコンテキストとシステム実行スペースの間で切り替えを行います。
context	システム コンフィギュレーションにセキュリティ コンテキストを作成し、コンテキスト コンフィギュレーション モードに入ります。
mode	コンテキスト モードをシングルまたはマルチに設定します。
show context	コンテキストのリスト (システム実行スペース) または現在のコンテキストに関する情報を表示します。

clear configure crypto

IPSec、暗号マップ、ダイナミック暗号マップ、CA トラストポイント、すべての証明書、証明書マップ コンフィギュレーション、ISAKMP など、暗号コンフィギュレーション全体を削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure crypto** コマンドを使用します。特定のコンフィギュレーションを削除するには、シンタックスに示されているように、このコマンドをキーワードと共に使用します。このコマンドは、慎重に使用してください。

clear configure crypto [ca | dynamic-map | ipsec | isakmp | map]

シンタックスの説明

ca	認証局のポリシーを削除します。
dynamic-map	ダイナミック暗号マップ コンフィギュレーションを削除します。
ipsec	IPSec コンフィギュレーションを削除します。
isakmp	ISAKMP コンフィギュレーションを削除します。
map	暗号マップ コンフィギュレーションを削除します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで発行した次の例では、セキュリティ アプライアンスからすべての暗号コンフィギュレーションを削除します。

```
hostname(config)# clear configure crypto
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure crypto dynamic-map	すべてのまたは指定したダイナミック暗号マップをコンフィギュレーションから消去します。
clear configure crypto map	すべてのまたは指定した暗号マップをコンフィギュレーションから消去します。
clear configure isakmp policy	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをすべて消去します。
show running-config crypto	IPSec、暗号マップ、ダイナミック暗号マップ、ISAKMP など、暗号コンフィギュレーション全体を表示します。

clear configure crypto ca trustpoint

コンフィギュレーションからすべてのトラストポイントを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure crypto ca trustpoint** コマンドを使用します。

clear configure crypto ca trustpoint

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 グローバル コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、コンフィギュレーションからすべてのトラストポイントを削除します。

```
hostname(config)# clear configure crypto ca trustpoint
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca trustpoint	指定したトラストポイントのトラストポイント サブコンフィギュレーション レベルに入ります。

clear configure crypto dynamic-map

コンフィギュレーションからすべてのまたは指定したダイナミック暗号マップを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure crypto dynamic-map** コマンドを使用します。

clear configure crypto dynamic-map *dynamic-map-name* *dynamic-seq-num*

シンタックスの説明

<i>dynamic-map-name</i>	特定のダイナミック暗号マップの名前を指定します。
<i>dynamic-seq-num</i>	ダイナミック暗号マップのシーケンス番号を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、コンフィギュレーションからシーケンス番号3のダイナミック暗号マップ `mymaps` を削除します。

```
hostname(config)# clear configure crypto dynamic-map mymaps 3
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure crypto map	すべてのまたは指定した暗号マップのコンフィギュレーションを消去します。
show running-config crypto dynamic-map	すべてのダイナミック暗号マップのすべてのアクティブなコンフィギュレーションを表示します。
show running-config crypto map	すべての暗号マップのすべてのアクティブなコンフィギュレーションを表示します。

clear configure crypto isakmp

すべての ISAKMP コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure crypto isakmp** コマンドを使用します。

clear configure crypto isakmp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	clear configure isakmp コマンドが導入されました。
	7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 clear configure crypto isakmp コマンドに置き換えられました。

例 グローバル コンフィギュレーション モードで発行した次のコマンドは、セキュリティ アプライアンスからすべての ISAKMP コンフィギュレーションを削除します。

```
hostname(config)# clear configure crypto isakmp
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure crypto isakmp policy	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをすべて消去します。
	crypto isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
	show crypto isakmp stats	実行時の統計情報を表示します。
	show crypto isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。
	show running-config crypto isakmp	アクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。

clear configure crypto isakmp policy

すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure isakmp policy** コマンドを使用します。

clear configure crypto isakmp policy priority

シンタックスの説明

priority 消去する ISAKMP ポリシーの優先順位を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear configure isakmp policy コマンドが導入されました。
7.2(1)	clear configure isakmp policy コマンドが、 clear configure crypto isakmp policy コマンドに置き換えられました。

例

次の例では、コンフィギュレーションから優先順位 3 の ISAKMP ポリシーを削除します。

```
hostname(config)# clear configure isakmp policy 3
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp stats	実行時の統計情報を表示します。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。
show running-config isakmp	アクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。

clear configure crypto map

コンフィギュレーションからすべてのまたは指定した暗号マップを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure crypto map** コマンドを使用します。

clear configure crypto map *map-name seq-num*

シンタックスの説明

<i>map-name</i>	特定の暗号マップの名前を指定します。
<i>seq-num</i>	暗号マップのシーケンス番号を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、コンフィギュレーションからシーケンス番号 3 の暗号マップ `mymaps` を削除します。

```
hostname(config)# clear configure crypto map mymaps 3
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure crypto dynamic-map	すべてのまたは指定したダイナミック暗号マップのコンフィギュレーションを消去します。
crypto map interface	暗号マップをインターフェイスに適用します。
show running-config crypto map	すべての暗号マップのアクティブなコンフィギュレーションを表示します。
show running-config crypto dynamic-map	すべてのダイナミック暗号マップのアクティブなコンフィギュレーションを表示します。

clear configure ddns

すべての DDNS コマンドを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ddns** コマンドを使用します。

clear configure ddns

シンタックスの説明

このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

例

次の例では、すべての DDNS コマンドを消去しています。

```
hostname(config)# clear configure ddns
```

関連コマンド

コマンド	説明
ddns (DDNS アップデート方式モード)	作成済みの DDNS 方式に対して、DDNS アップデート方式のタイプを指定します。
ddns update (インターフェイス コンフィギュレーション モード)	セキュリティ アプライアンス インターフェイスを、DDNS アップデート方式または DDNS アップデート ホスト名に関連付けます。
ddns update method (グローバル コンフィギュレーション モード)	DNS のリソース レコードを動的にアップデートするための方式を作成します。
show ddns update interface	設定済みの各 DDNS 方式に関連付けられているインターフェイスを表示します。
show ddns update method	設定済みの各 DDNS 方式について、タイプおよび間隔を表示します。DDNS アップデートを実行する DHCP サーバ。
show running-config ddns	実行コンフィギュレーションに含まれている、設定済みのすべての DDNS 方式について、タイプおよび間隔を表示します。

clear configure dhcpd

DHCP サーバ コマンド、バインディング、および統計情報をすべて消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure dhcpd** コマンドを使用します。

clear configure dhcpd

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear dhcpd が clear configure dhcpd に変更されました。

使用上のガイドライン **clear configure dhcpd** コマンドは、**dhcpd** コマンド、バインディング、および統計情報をすべて消去します。統計情報カウンタまたはバインディング情報だけを消去するには、**clear dhcpd** コマンドを使用します。

例 次の例では、すべての **dhcpd** コマンドを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure dhcpd
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear dhcpd	DHCP サーバのバインディングおよび統計情報カウンタを消去します。
show running-config dhcpd	現在の DHCP サーバ コンフィギュレーションを表示します。

clear configure dhcprelay

すべての DHCP リレー コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure dhcprelay** コマンドを使用します。

clear configure dhcprelay

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear dhcprelay が clear configure dhcprelay に変更されました。

使用上のガイドライン **clear configure dhcprelay** コマンドは、DHCP リレー統計情報およびコンフィギュレーションを消去します。DHCP 統計情報カウンタだけを消去するには、**clear dhcprelay statistics** コマンドを使用します。

例 次の例では、DHCP リレー コンフィギュレーションを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure dhcprelay
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear dhcprelay statistics	DHCP リレー エージェント統計情報カウンタを消去します。
debug dhcprelay	DHCP リレー エージェントに関するデバッグ情報を表示します。
show dhcprelay statistics	DHCP リレー エージェントの統計情報を表示します。
show running-config dhcprelay	現在の DHCP リレー エージェント コンフィギュレーションを表示します。

clear configure dns

すべての DNS コマンドを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure dns** コマンドを使用します。

clear configure dns

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、すべての DNS コマンドを消去します。

```
hostname(config)# clear configure dns
```

関連コマンド

コマンド	説明
dns domain-lookup	セキュリティ アプライアンスがネーム ルックアップを実行できるようにします。
dns name-server	DNS サーバのアドレスを設定します。
dns retries	セキュリティ アプライアンスが応答を受信しないときに、一連の DNS サーバへのアクセスを再試行する回数を指定します。
dns timeout	次の DNS サーバを試すまでに待つ時間を指定します。
show dns-hosts	DNS キャッシュを表示します。

clear configure established

確立されたコマンドをすべて削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure established** コマンドを使用します。

clear configure established

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	キーワード <i>configure</i> が追加されました。

使用上のガイドライン *established* コマンドで作成した確立されている接続を削除するには、*clear xlate* コマンドを入力します。

例 次の例では、確立されたコマンドを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure established
```

関連コマンド	コマンド	説明
	established	確立されている接続に基づくポート上のリターン接続を許可します。
	show running-config established	確立されている接続に基づく、許可済みの着信接続を表示します。
	clear xlate	現在の変換スロット情報および接続スロット情報を消去します。

clear configure failover

コンフィギュレーションから **failover** コマンドを削除してデフォルトに戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure failover** コマンドを使用します。

clear configure failover

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが clear failover から clear configure failover に変更されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、すべての **failover** コマンドを実行コンフィギュレーションから消去し、デフォルトに戻します。**all** キーワードを **show running-config failover** コマンドと共に使用すると、デフォルトのフェールオーバー コンフィギュレーションが表示されます。

clear configure failover コマンドは、マルチ コンフィギュレーション モードのセキュリティ コンテキストでは使用できません。このコマンドはシステム実行スペースで入力する必要があります。

例 次の例では、コンフィギュレーションからすべてのフェールオーバー コマンドを消去します。

```
hostname(config)# clear configure failover
hostname(config)# show running-configuration failover
no failover
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config failover	実行コンフィギュレーション内の failover コマンドを表示します。

clear configure filter

URL、FTP、および HTTPS フィルタリング コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure filter** コマンドを使用します。

clear configure filter

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **clear configure filter** コマンドは、URL、FTP、および HTTPS フィルタリング コンフィギュレーションを消去します。

例 次の例では、URL、FTP、および HTTPS フィルタリング コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname# clear configure filter
```

関連コマンド	コマンド	説明
	filter ftp	URL フィルタリング サーバによってフィルタリングされる FTP トラフィックを指定します。
	filter https	Websense サーバによってフィルタリングされる HTTPS トラフィックを指定します。
	filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに向けて送ります。
	show running-config filter	フィルタリング コンフィギュレーションを表示します。
	url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure fips

NVRAM に格納されているシステムまたはモジュールの FIPS コンフィギュレーション情報を消去するには、**clear configure fips** コマンドを使用します。

clear configure fips

シンタックスの説明	fips	FIPS-2 準拠情報
-----------	------	-------------

デフォルト このコマンドにデフォルト設定はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(4)	このコマンドが導入されました。

例 sw8-ASA(config)# **clear configure fips**

関連コマンド	コマンド	説明
	crashinfo console disable	フラッシュに対するクラッシュ書き込み情報の読み取り、書き込み、および設定をディセーブルにします。
	fips enable	システムまたはモジュールで FIPS に準拠するためのポリシーチェックをイネーブルまたはディセーブルにします。
	fips self-test poweron	パワーオンセルフテストを実行します。
	show crashinfo console	フラッシュに対するクラッシュ書き込みの読み取り、書き込み、および設定を行います。
	show running-config fips	セキュリティ アプライアンス上で実行されている FIPS コンフィギュレーションを表示します。

clear configure firewall

ファイアウォール モードをデフォルトのルーテッド モードに設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure firewall** コマンドを使用します。

clear configure firewall

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、ファイアウォール モードをデフォルトに設定します。

```
hostname(config)# clear configure firewall
```

関連コマンド	コマンド	説明
	arp	スタティック ARP エントリを追加します。
	firewall transparent	ファイアウォール モードを透過に設定します。
	show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。
	show running-config arp	ARP タイムアウトの現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure fixup

フィックスアップ コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure fixup** コマンドを使用します。

clear configure fixup

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン

clear configure fixup コマンドは、フィックスアップ コンフィギュレーションを削除します。

例

次の例では、フィックスアップ コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname# clear configure fixup
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	セキュリティ アクションを適用する先のトラフィック クラスを定義します。
policy-map	クラス マップを特定のセキュリティ アクションに関連付けます。

clear configure fragment

すべての IP フラグメント再構成コンフィギュレーションをデフォルトにリセットするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure fragment** コマンドを使用します。

clear configure fragment [*interface*]

シンタックスの説明

interface (オプション) セキュリティ アプライアンスのインターフェイスを指定します。

デフォルト

interface が指定されていない場合、このコマンドはすべてのインターフェイスに適用されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	configure キーワードおよびオプションの <i>interface</i> 引数が追加されました。また、このコマンドは、運用データの消去とコンフィギュレーションデータの消去を区別するため、 clear fragment と clear configure fragment の 2 つのコマンドに分けられました。

使用上のガイドライン

clear configure fragment コマンドは、すべての IP フラグメント再構成コンフィギュレーションをデフォルトにリセットします。また、**chain**、**size**、および **timeout** キーワードが次のデフォルト値にリセットされます。

- **chain** は 24 パケットです。
- **size** は 200 です。
- **timeout** は 5 秒です。

例

次の例では、すべての IP フラグメント再構成コンフィギュレーションをデフォルトにリセットする方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure fragment
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear fragment	IP フラグメント再構成モジュールの運用データを消去します。
fragment	特別なパケット フラグメント化の管理を提供して、NFS との互換性を改善します。
show fragment	IP フラグメント再構成モジュールの運用データを表示します。
show running-config fragment	IP フラグメント再構成コンフィギュレーションを表示します。

clear configure ftp

FTP コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ftp** コマンドを使用します。

clear configure ftp

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure ftp コマンドは、FTP コンフィギュレーションを消去します。

例

次の例では、FTP コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname# clear configure filter
```

関連コマンド

コマンド	説明
filter ftp	URL フィルタリング サーバによってフィルタリングされる FTP トラフィックを指定します。
filter https	Websense サーバによってフィルタリングされる HTTPS トラフィックを指定します。
filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに向けて送ります。
show running-config filter	フィルタリング コンフィギュレーションを表示します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure global

コンフィギュレーションから **global** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーションモードで **clear configure global** コマンドを使用します。

clear configure global

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>configure</i> が追加されました。

例 次の例では、コンフィギュレーションから **global** コマンドを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure global
```

関連コマンド

コマンド	説明
global	グローバル アドレス プールに対してエントリを作成します。
show running-config global	コンフィギュレーション内の global コマンドを表示します。

clear config group-delimiter

トンネルのネゴシエーション中に受信したユーザ名からグループ名を解析するときに使用するグループ デリミタをコンフィギュレーションから消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure group-delimiter** コマンドを使用します。グループ名の解析がディセーブルになります。

clear config group-delimiter

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このデリミタは、トンネルのネゴシエーション中に、ユーザ名からトンネル グループ名を解析するために使用されます。デリミタを指定しないと、グループ名の解析がディセーブルになります。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、コンフィギュレーションからグループ デリミタを削除します。

```
hostname(config)# clear config group-delimiter
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
group-delimiter	グループ名の解析をイネーブルにし、IPSec リモートアクセス トンネル グループのグループ デリミタを指定します。
show running-config group-delimiter	現在の設定済みグループ デリミタを表示します。

clear configure group-policy

特定のグループ ポリシーのコンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure group-policy** コマンドを使用し、グループ ポリシーの名前を付加します。デフォルトのグループ ポリシー以外のすべての **group-policy** コマンドをコンフィギュレーションから削除するには、このコマンドを引数なしで使用します。

clear configure group-policy [*name*]

シンタックスの説明

name グループ ポリシーの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトのグループ ポリシー以外のすべての **group-policy** コマンドをコンフィギュレーションから削除します。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、FirstGroup という名前のグループ ポリシーのコンフィギュレーションを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure group-policy FirstGroup
```

関連コマンド

コマンド	説明
group-policy	グループ ポリシーを作成、編集、または削除します。
group-policy attributes	指定したグループ ポリシーの AVP を設定できるグループ ポリシー アトリビュート モードに入ります。
show running-config group-policy	特定のグループ ポリシーまたはすべてのグループ ポリシーの実行コンフィギュレーションを表示します。

clear configure hostname

ホスト名をデフォルトにリセットするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure hostname** コマンドを使用します。

clear configure hostname

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルト値はプラットフォームによって異なります。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、ホスト名を消去します。

```
hostname(config)# clear configure hostname
```

関連コマンド	コマンド	説明
	banner	ログインバナー、「今日のお知らせ」バナー、またはイネーブルバナーを設定します。
	domain-name	デフォルトのドメイン名を設定します。
	hostname	セキュリティ アプライアンスのホスト名を設定します。

clear configure http

HTTP サーバをディセーブルにし、HTTP サーバにアクセスできる設定済みホストを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure http** コマンドを使用します。

clear configure http

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、HTTP コンフィギュレーションを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure http
```

関連コマンド

コマンド	説明
http	IP アドレスとサブネット マスクによって、HTTP サーバにアクセスできるホストを指定します。ホストが HTTP サーバにアクセスするときに通過するセキュリティ アプライアンス インターフェイスを指定します。
http authentication-certificate	セキュリティ アプライアンスへの HTTPS 接続を確立するユーザに証明書による認証を要求します。
http redirect	セキュリティ アプライアンスが HTTP 接続を HTTPS にリダイレクトするように指定します。
http server enable	HTTP サーバをイネーブルにします。
show running-config http	HTTP サーバにアクセスできるホストを表示し、さらに HTTP サーバがイネーブルであるかどうかを表示します。

clear configure icmp

ICMP トラフィックの設定済みアクセス規則を消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure icmp** コマンドを使用します。

clear configure icmp

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure icmp コマンドは、ICMP トラフィックの設定済みアクセス規則を消去します。

例

次の例では、ICMP トラフィックの設定済みアクセス規則を消去します。

```
hostname# clear configure icmp
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure icmp	ICMP コンフィギュレーションを消去します。
debug icmp	ICMP に関するデバッグ情報の表示をイネーブルにします。
show icmp	ICMP コンフィギュレーションを表示します。
timeout icmp	ICMP のアイドル タイムアウトを設定します。

clear configure imap4s

コンフィギュレーションからすべての IMAP4S コマンドを削除してデフォルト値に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure imap4s** コマンドを使用します。

clear configure imap4s

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、IMAP4S コンフィギュレーションを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure imap4s
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-configuration imap4s	IMAP4S の実行コンフィギュレーションを表示します。
	imap4s	IMAP4S 電子メール プロキシのコンフィギュレーションを作成または編集します。

clear configure interface

インターフェイス コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure interface** コマンドを使用します。

```
clear configure interface [physical_interface [subinterface] | mapped_name | interface_name]
```

シンタックスの説明

<i>interface_name</i>	(オプション) nameif コマンドで設定したインターフェイス名を指定します。
<i>mapped_name</i>	(オプション) マルチ コンテキスト モードで、マッピング名を allocate-interface コマンドで割り当てた場合に、その名前を指定します。
<i>physical_interface</i>	(オプション) インターフェイス ID (gigabitethernet0/1 など) を指定します。使用できる値については、 interface コマンドを参照してください。
<i>subinterface</i>	(オプション) 論理サブインターフェイスを示す 1 ～ 4294967293 の整数を指定します。

デフォルト

インターフェイスを指定しない場合、セキュリティ アプライアンスはすべてのインターフェイス コンフィギュレーションを消去します。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear interface がこのコマンドに変更されました。また、新しいインターフェイスの番号付け方式も含めるように修正されました。

使用上のガイドライン

メインの物理インターフェイスのインターフェイス コンフィギュレーションを消去する場合、セキュリティ アプライアンスではデフォルト設定が使用されます。

インターフェイス名をシステム実行スペースで使用することはできません。これは、**nameif** コマンドはコンテキスト内だけで使用できるからです。同様に、**allocate-interface** コマンドでインターフェイス ID をマッピング名にマップした場合は、そのマッピング名はコンテキスト内でしか使用できません。

例

次の例では、GigabitEthernet0/1 コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname(config)# clear configure interface gigabitethernet0/1
```

次の例では、内部インターフェイス コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname(config)# clear configure interface inside
```


次の例では、コンテキスト内で int1 インターフェイス コンフィギュレーションを消去します。「int1」はマッピング名です。

```
hostname/contexta (config)# clear configure interface int1
```

次の例では、すべてのインターフェイス コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname (config)# clear configure interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
allocate-interface	セキュリティ コンテキストにインターフェイスおよびサブインターフェイスを割り当てます。
clear interface	show interface コマンドのカウンタを消去します。
interface	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーションモードに入ります。
show interface	インターフェイスのランタイム ステータスと統計情報を表示します。

clear configure ip

ip address コマンドで設定したすべての IP アドレスを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ip** コマンドを使用します。

clear configure ip

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 透過ファイアウォール モードでは、このコマンドは、管理 IP アドレスと Management 0/0 IP アドレス（設定している場合）を消去します。

古い IP アドレスを使用する現在の接続をすべて停止するには、**clear xlate** コマンドを入力します。入力しない場合、接続は通常どおりタイムアウトします。

例 次の例では、すべての IP アドレスを消去します。

```
hostname(config)# clear configure ip
```

関連コマンド	コマンド	説明
	allocate-interface	セキュリティ コンテキストにインターフェイスおよびサブインターフェイスを割り当てます。
	clear configure interface	インターフェイスのコンフィギュレーションをすべて消去します。
	interface	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードに入ります。
	ip address	インターフェイスの IP アドレスを設定します。
	show running-config interface	インターフェイスのコンフィギュレーションを表示します。

clear configure ip audit

監査ポリシー コンフィギュレーション全体を消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ip audit** コマンドを使用します。

clear configure ip audit [configuration]

シンタックスの説明	configuration	(オプション) このキーワードを入力できますが、使用しない場合も結果は同じです。
------------------	----------------------	--

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが clear ip audit から変更されました。

例 次の例では、すべての **ip audit** コマンドを消去します。

```
hostname# clear configure ip audit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
	ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
	ip audit interface	インターフェイスに監査ポリシーを割り当てます。
	ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
	ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

clear configure ip local pool

IP アドレス プールを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ip local pool** コマンドを使用します。

```
clear ip local pool [poolname]
```

シンタックスの説明 *poolname* (オプション) IP アドレス プールの名前を指定します。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、実行コンフィギュレーションからすべての IP アドレス プールを削除します。

```
hostname(config)# clear config ip local pool
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure ip local pool	すべての IP ローカル プールを削除します。
ip local pool	IP アドレス プールを設定します。

clear configure ip verify reverse-path

ip verify reverse-path コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ip verify reverse-path** コマンドを使用します。

clear configure ip verify reverse-path

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear ip verify reverse-path がこのコマンドに変更されました。

例 次の例では、すべてのインターフェイスの **ip verify reverse-path** コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname(config)# clear configure ip verify reverse-path
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear ip verify statistics	Unicast RPF の統計情報を消去します。
	ip verify reverse-path	Unicast Reverse Path Forwarding 機能をイネーブルにして IP スプーフィングを防止します。
	show ip verify statistics	Unicast RPF の統計情報を表示します。
	show running-config ip verify reverse-path	ip verify reverse-path コンフィギュレーションを表示します。

clear configure ipv6

実行コンフィギュレーションからグローバル IPv6 コマンドを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ipv6** コマンドを使用します。

clear configure ipv6 [*route* | *access-list*]

シンタックスの説明

route	(オプション) 実行コンフィギュレーションから IPv6 ルーティング テーブル内のルートをスタティックに定義するコマンドを消去します。
access-list	(オプション) 実行コンフィギュレーションから IPv6 アクセス リスト コマンドを消去します。

デフォルト

キーワードを指定しない場合、このコマンドでは実行コンフィギュレーションからすべての IPv6 コマンドが消去されます。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドでは、実行コンフィギュレーションからグローバル IPv6 コマンドだけが消去されません。インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力した IPv6 コマンドは消去されません。

例

次の例では、IPv6 ルーティング テーブルからスタティックに定義された IPv6 ルートを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure ipv6 route
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 route	IPv6 ルーティング テーブル内のスタティック ルートを定義します。
show ipv6 route	IPv6 ルーティング テーブルの内容を表示します。
show running-config ipv6	実行コンフィギュレーション内の IPv6 コマンドを表示します。

clear configure isakmp

すべての ISAKMP コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure isakmp** コマンドを使用します。

clear configure isakmp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

リリース	変更内容
7.0(1)	clear configure isakmp コマンドが導入されました。
7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 clear configure crypto isakmp コマンドに置き換えられました。

例 グローバル コンフィギュレーション モードで発行した次の例では、セキュリティ アプライアンス からすべての ISAKMP コンフィギュレーションを削除します。

```
hostname(config)# clear configure isakmp
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure isakmp policy	ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをすべて消去します。
	isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
	show isakmp stats	実行時の統計情報を表示します。
	show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。
	show running-config isakmp	アクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。

clear configure isakmp policy

すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure isakmp policy** コマンドを使用します。

clear configure isakmp policy priority

シンタックスの説明

priority 消去する ISAKMP ポリシーの優先順位を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear configure isakmp policy コマンドが導入されました。
7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 clear configure crypto isakmp policy コマンドに置き換えられました。

例

次の例では、コンフィギュレーションから優先順位 3 の ISAKMP ポリシーを削除します。

```
hostname(config)# clear configure isakmp policy 3
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp stats	実行時の統計情報を表示します。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。
show running-config isakmp	アクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。

clear configure ldap attribute-map

セキュリティ アプライアンスの実行コンフィギュレーションからすべての LDAP アトリビュートマップを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ldap attribute-map** コマンドを使用します。

clear configure ldap attribute-map

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン セキュリティ アプライアンスの実行コンフィギュレーションから LDAP アトリビュート マップを削除するには、このコマンドを使用します。

例 グローバル コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、実行コンフィギュレーションからすべての LDAP アトリビュート マップを削除し、削除されたことを確認します。

```
hostname(config)# clear configuration ldap attribute-map
hostname(config)# show running-config ldap attribute-map
hostname(config)#
```

コマンド	説明
ldap attribute-map (グローバル コンフィギュレーション モード)	ユーザ定義のアトリビュート名を Cisco LDAP アトリビュート名にマッピングするために、LDAP アトリビュート マップを作成し、名前を付けます。
ldap-attribute-map (AAA サーバ ホストモード)	LDAP アトリビュート マップを LDAP サーバにバインドします。
map-name	ユーザ定義の LDAP アトリビュート名を、Cisco LDAP アトリビュート名にマッピングします。
map-value	ユーザ定義のアトリビュート値を、Cisco アトリビュートにマッピングします。
show running-config ldap attribute-map	特定の実行 LDAP アトリビュート マップまたはすべての実行アトリビュート マップを表示します。

clear configure logging

ロギング コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure logging** コマンドを使用します。

clear configure logging [*disabled* | *level*]

シンタックスの説明

disabled	(オプション) デイセーブルになっているすべてのシステム ログ メッセージを再度イネーブルにすることを指定します。このオプションを使用する場合、他のロギング コンフィギュレーションは消去されません。
level	(オプション) システム ログ メッセージへの重大度の割り当てをデフォルト値にリセットすることを指定します。このオプションを使用する場合、他のロギング コンフィギュレーションは消去されません。
(オプションが指定されていない場合) すべてのコンフィギュレーション設定をデフォルト値に戻します。	

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config logging コマンドを使用して、すべてのロギング コンフィギュレーションを表示できます。**clear configure logging** コマンドを **disabled** または **level** キーワードなしで使用した場合、すべてのロギング コンフィギュレーション設定が消去され、デフォルト値に戻ります。

例 次の例では、ロギング コンフィギュレーションを消去する方法を示します。**show logging** コマンドの出力は、すべてのロギング機能がディセーブルになっていることを示します。

```
hostname(config)# clear configure logging
hostname(config)# show logging
Syslog logging: disabled
  Facility: 20
  Timestamp logging: disabled
  Standby logging: disabled
  Deny Conn when Queue Full: disabled
  Console logging: disabled
  Monitor logging: disabled
  Buffer logging: disabled
  Trap logging: disabled
  History logging: disabled
  Device ID: disabled
  Mail logging: disabled
  ASDM logging: disabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
show logging	イネーブルなロギング オプションを表示します。
show running-config logging	実行コンフィギュレーションのロギング関連の部分を表示します。

clear configure logging rate-limit

ロギング レート制限をリセットするには、**clear configure logging rate-limit** コマンドを使用します。

clear configure logging rate-limit

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト このコマンドにデフォルト設定はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(4)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、ロギング レート制限をリセットする方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure logging rate-limit
```

情報が消去されると、ホストが接続を再び確立するまで、何も表示されません。

関連コマンド

コマンド	説明
logging rate limit	システム ログ メッセージが生成されるレートを制限します。
show running config logging rate-limit	現在のロギング レート制限の設定を表示します。

clear configure mac-address-table

mac-address-table static および **mac-address-table aging-time** コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mac-address-table** コマンドを使用します。

clear configure mac-address-table

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、**mac-address-table static** および **mac-address-table aging-time** コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname# clear configure mac-address-table
```

関連コマンド	コマンド	説明
	firewall transparent	ファイアウォール モードを透過に設定します。
	mac-address-table aging-time	ダイナミック MAC アドレス エントリのタイムアウトを設定します。
	mac-address-table static	MAC アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
	mac-learn	インターフェイスの MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
	show mac-address-table	ダイナミック エントリとスタティック エントリを含め、MAC アドレス テーブルを表示します。

clear configure mac-learn

mac-learn コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mac-learn** コマンドを使用します。

clear configure mac-learn

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、**mac-learn** コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname# clear configure mac-learn
```

関連コマンド

コマンド	説明
firewall transparent	ファイアウォール モードを透過に設定します。
mac-address-table static	MAC アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
mac-learn	インターフェイスの MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
show mac-address-table	ダイナミック エントリとスタティック エントリを含め、MAC アドレス テーブルを表示します。

clear configure mac-list

以前に **mac-list** コマンドで指定された MAC アドレスの指定したリストを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mac-list** コマンドを使用します。

clear configure mac-list *id*

シンタックスの説明 *id* MAC アドレス リスト名。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI 規格に適合するように、このコマンドが修正されました。

使用上のガイドライン MAC アドレスのリストを削除するには、**clear mac-list** コマンドを使用します。

例 次の例では、MAC アドレス リストを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure mac-list firstmaclist
```

関連コマンド

コマンド	説明
mac-list	先頭一致検索を使用して MAC アドレスのリストを追加します。
show running-config mac-list	<i>id</i> で指定した MAC アドレスリストにある MAC アドレスを表示します。

clear configure management-access

セキュリティ アプライアンスの管理アクセスのための内部インターフェイスのコンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure management-access** コマンドを使用します。

clear configure management-access

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

使用上のガイドライン **management-access** コマンドを使用すると、**mgmt_if** で指定したファイアウォール インターフェイスの IP アドレスを使用して、内部管理インターフェイスを定義できます（インターフェイス名は **nameif** コマンドによって定義され、**show interface** コマンドの出力で引用符 “ ” に囲まれて表示されます）。**clear configure management-access** コマンドは、**management-access** コマンドで指定した内部管理インターフェイスのコンフィギュレーションを削除します。

例 次の例では、セキュリティ アプライアンスの管理アクセスのための、内部インターフェイスのコンフィギュレーションを削除します。

```
hostname(config)# clear configure management-access
```

関連コマンド

コマンド	説明
management-access	管理アクセス用の内部インターフェイスを設定します。
show running-config management-access	管理アクセス用に設定されている内部インターフェイスの名前を表示します。

clear configure monitor-interface

実行コンフィギュレーションからすべての **monitor-interface** コマンドを削除し、デフォルトのインターフェイスヘルスモニタリングに戻すには、グローバルコンフィギュレーションモードで **clear configure monitor-interface** コマンドを使用します。

clear configure monitor-interface

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバルコンフィギュレーション	•	•	•	•	—

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン デフォルトでは、物理インターフェイスはフェールオーバーのために監視されます。**clear monitor-interface** コマンドを使用すると、実行コンフィギュレーションから **no monitor-interface** コマンドが消去され、デフォルトのインターフェイスヘルスモニタリングに戻ります。実行コンフィギュレーション内の **monitor-interface** コマンドを表示するには、**show running-config all monitor-interface** コマンドを使用します。

例 次の例では、実行コンフィギュレーションから **monitor-interface** コマンドを消去します。

```
hostname(config)# clear configure monitor-interface
hostname(config)#
```

コマンド	説明
monitor-interface	フェールオーバー用に指定されているインターフェイスのヘルスモニタリングをイネーブルにします。
show running-config monitor-interface	実行コンフィギュレーション内の monitor-interface コマンドを表示します。

clear configure mroute

実行コンフィギュレーションから **mroute** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mroute** コマンドを使用します。

clear configure mroute

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、コンフィギュレーションから **mroute** コマンドを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure mroute
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	mroute	スタティック マルチキャスト ルートを設定します。
	show mroute	IPv4 マルチキャスト ルーティング テーブルを表示します。
	show running-config mroute	実行コンフィギュレーション内の mroute コマンドを表示します。

clear configure mtu

すべてのインターフェイスの設定済み Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) 値を消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mtu** コマンドを使用します。

clear configure mtu

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト **clear configure mtu** コマンドを使用すると、すべてのイーサネット インターフェイスの最大伝送ユニットがデフォルトの 1500 に設定されます。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

例 次の例では、すべてのインターフェイスの現在の最大伝送ユニット値を消去します。

```
hostname(config)# clear configure mtu
```

関連コマンド

コマンド	説明
mtu	インターフェイスの最大伝送ユニットを指定します。
show running-config mtu	現在の最大伝送ユニットのブロック サイズを表示します。

clear configure multicast-routing

実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure multicast-routing** コマンドを使用します。

clear configure *multicast-routing*

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードも引数也没有ありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **clear configure multicast-routing** コマンドは、実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** を削除します。**no multicast-routing** コマンドも、実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** コマンドを削除します。

例 次の例では、実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** コマンドを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure multicast-routing
```

関連コマンド	コマンド	説明
	multicast-routing	セキュリティ アプライアンス上のマルチキャスト ルーティングをイネーブルにします。

clear configure name

コンフィギュレーションから名前のリストを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure name** コマンドを使用します。

clear configure name

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	キーワード <i>configure</i> が追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドに使用上のガイドラインはありません。

例 次の例では、名前のリストを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure name
```

関連コマンド	コマンド	説明
	name	名前を IP アドレスに関連付けます。
	show running-config name	IP アドレスに関連付けられている名前のリストを表示します。

clear configure nat

NAT コンフィギュレーションを削除するには、特権 EXEC モードで **clear configure nat** コマンドを使用します。

clear configure nat

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
特権 EXEC	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>configure</i> が追加されました。

使用上のガイドライン 透過ファイアウォール モードには、次の注意事項が適用されます。



(注) 透過ファイアウォール モードでは、NAT id 0 のみが有効です。

例 次の例では、NAT コンフィギュレーションを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure nat
```

関連コマンド

コマンド	説明
nat	ネットワークをグローバル IP アドレス プールに関連付けます。
show running-config nat	ネットワークに関連付けられているグローバル IP アドレスのプールを表示します。

clear configure nat-control

NTP コンフィギュレーションの要件をディセーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure nat-control** コマンドを使用します。

clear configure nat-control

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、NAT コンフィギュレーションの要件をディセーブルにしています。

```
hostname (config)# clear configure nat-control
```

関連コマンド	コマンド	説明
	nat	他のインターフェイスのグローバル アドレスに変換される、1つのインターフェイス上のアドレスを定義します。
	nat-control	NAT コントロールを適用します。NAT コントロールをディセーブルにすると、NAT 規則を設定していない場合でも、内部ホストは外部ネットワークと通信することが許可されます。
	show running-config nat-control	NAT コンフィギュレーションの要件を表示します。

clear configure ntp

NTP コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ntp** コマンドを使用します。

clear configure ntp

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear ntp がこのコマンドに変更されました。

例 次の例では、すべての **ntp** コマンドを消去します。

```
hostname# clear configure ntp
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp authenticate	NTP 認証をイネーブルにします。
ntp authentication-key	NTP 認証キーを設定します。
ntp server	セキュリティ アプライアンスの時間を設定する NTP サーバを指定します。
ntp trusted-key	NTP の信頼できるキーを指定します。
show running-config ntp	NTP コンフィギュレーションを表示します。

clear configure object-group

コンフィギュレーションからすべての **object group** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure object-group** コマンドを使用します。

```
clear configure object-group [{protocol | service | icmp-type | network}]
```

シンタックスの説明

icmp-type	(オプション) すべての ICMP グループを消去します。
network	(オプション) すべてのネットワーク グループを消去します。
protocol	(オプション) すべてのプロトコル グループを消去します。
service	(オプション) すべてのサービス グループを消去します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存のものです。

例

次の例では、コンフィギュレーションからすべての **object-group** コマンドを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure object-group
```

関連コマンド

コマンド	説明
group-object	ネットワーク オブジェクト グループを追加します。
network-object	ネットワーク オブジェクト グループにネットワーク オブジェクトを追加します。
object-group	コンフィギュレーションを最適化するためのオブジェクト グループを定義します。
port-object	サービス オブジェクト グループにポート オブジェクトを追加します。
show running-config object-group	現在のオブジェクト グループを表示します。

clear configure passwd

ログインパスワードコンフィギュレーションを消去し、デフォルト設定の「cisco」に戻すには、グローバルコンフィギュレーションモードで **clear configure passwd** コマンドを使用します。

```
clear configure {passwd | password}
```

シンタックスの説明

passwd | password どちらのコマンドでも入力できます。これらは互いにエイリアス関係にあります。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバルコンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear passwd がこのコマンドに変更されました。

例

次の例では、ログインパスワードを消去し、デフォルトの「cisco」に戻します。

```
hostname(config)# clear configure passwd
```

関連コマンド

コマンド	説明
enable	特権 EXEC モードに入ります。
enable password	イネーブルパスワードを設定します。
passwd	ログインパスワードを設定します。
show curpriv	現在ログインしているユーザの名前および特権レベルを表示します。
show running-config passwd	ログインパスワードを暗号化された形で表示します。

clear configure pim

実行コンフィギュレーションからすべてのグローバル **pim** コマンドを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure pim** コマンドを使用します。

clear configure pim

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードも引数也没有ありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **clear configure pim** コマンドは、実行コンフィギュレーションからすべての **pim** コマンドを消去します。PIM トラフィック カウンタおよびトポロジ情報を消去するには、**clear pim counters** コマンドおよび **clear pim topology** コマンドを使用します。

clear configure pim コマンドはグローバル コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドだけを消去します。インターフェイス固有の **pim** コマンドは消去しません。

例 次の例では、実行コンフィギュレーションからすべての **pim** コマンドを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure pim
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear pim topology	PIM トポロジ テーブルを消去します。
	clear pim counters	PIM トラフィック カウンタを消去します。
	show running-config pim	実行コンフィギュレーション内の pim コマンドを表示します。

clear configure policy-map

すべての **policy-map** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure policy-map** コマンドを使用します。

```
clear configure policy-map [type inspect [protocol]]
```

シンタックスの説明

<i>type inspect</i>	(オプション) 検査ポリシー マップを消去します。
<i>protocol</i>	(オプション) 消去する検査ポリシー マップのタイプを指定します。指定できるタイプは、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • dcerpc • dns • esmtp • ftp • gtp • h323 • http • im • mgcp • netbios • p2p • radius-accounting • sip • skinny • snmp

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

特定の名前のポリシー マップを消去するには、**policy-map** コマンドの **no** 形式を使用します。

例

次に、**clear configure policy-map** コマンドの例を示します。

```
hostname(config)# clear configure policy-map
```

関連コマンド	コマンド	説明
	policy-map	ポリシー(トラフィック クラスと1つまたは複数のアクションのアソシエーション)を設定します。
	show running-config policy-map	ポリシー コンフィギュレーション全体を表示します。

clear configure pop3s

コンフィギュレーションからすべての POP3S コマンドを削除してデフォルト値に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure pop3s** コマンドを使用します。

clear configure pop3s

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、POP3S コンフィギュレーションを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure pop3s
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-configuration pop3s	POP3S の実行コンフィギュレーションを表示します。
	pop3s	POP3S 電子メール プロキシのコンフィギュレーションを作成または編集します。

clear configure port-forward

WebVPN ユーザが転送 TCP ポート経由でアクセスする設定済みのアプリケーションのセットを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure port-forward** コマンドを使用します。設定済みのアプリケーションをすべて削除するには、このコマンドを *listname* 引数なしで使用します。特定のリストのアプリケーションだけを削除するには、このコマンドに *listname* を付けて使用します。

```
clear configure port-forward [listname]
```

シンタックスの説明

<i>listname</i>	WebVPN ユーザがアクセスできるアプリケーション (転送 TCP ポート) のセットをグループ化します。最大 64 文字です。
-----------------	---

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、*SalesGroupPorts* という名前のポート転送リストを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure port-forward SalesGroupPorts
```

関連コマンド

コマンド	説明
port-forward	WebVPN ユーザがアクセスできるアプリケーションのセットを設定するには、WebVPN コンフィギュレーション モードでこのコマンドを使用します。
port-forward	ユーザまたはグループ ポリシーの WebVPN アプリケーション アクセスをイネーブルにするには、webvpn モードでこのコマンドを使用します。
show running-configuration port-forward	現在設定されている port-forward コマンドのセットを表示します。

clear configure prefix-list

実行コンフィギュレーションから **prefix-list** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure prefix-list** コマンドを使用します。

```
clear configure prefix-list [prefix-list-name]
```

シンタックスの説明

prefix-list-name (オプション) プレフィックス リストの名前。プレフィックス リスト名を指定した場合は、そのプレフィックス リストのコマンドだけがコンフィギュレーションから削除されます。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear prefix-list が clear configure prefix-list に変更されました。

使用上のガイドライン

clear configure prefix-list コマンドは、実行コンフィギュレーションから **prefix-list** コマンドおよび **prefix-list description** コマンドを削除します。プレフィックス リスト名を指定した場合は、実行コンフィギュレーションからそのプレフィックス リストの **prefix-list** コマンドと **prefix-list description** コマンド（存在する場合）だけが削除されます。

このコマンドは、実行コンフィギュレーションから **no prefix-list sequence** コマンドを削除しません。

例

次の例では、実行コンフィギュレーションから MyPrefixList という名前のプレフィックス リストのすべての **prefix-list** コマンドを削除します。

```
hostname# clear configure prefix-list MyPrefixList
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config prefix-list	実行コンフィギュレーション内の prefix-list コマンドを表示します。

clear configure priority-queue

コンフィギュレーションからプライオリティ キューの指定を削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure priority-queue** コマンドを使用します。

clear configure priority queue interface-name

シンタックスの説明

interface-name プライオリティ キューの詳細を表示するインターフェイスの名前を指定します。

このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、**clear configure priority-queue** コマンドを使用して、**test** という名前のインターフェイスでプライオリティ キュー コンフィギュレーションを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure priority-queue test
```

関連コマンド

コマンド	説明
priority-queue	インターフェイスにプライオリティ キューイングを設定します。
show running-config priority-queue	指定したインターフェイスの現在のプライオリティ キュー コンフィギュレーションを表示します。

clear configure privilege

コマンドの設定済みの特権レベルを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure privilege** コマンドを使用します。

clear configure privilege

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	CLI ガイドラインに沿うように、このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン 元に戻すことはできません。

例 次の例では、コマンドの設定済みの特権レベルをリセットする方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure privilege
```

関連コマンド	コマンド	説明
	privilege	コマンド特権レベルを設定します。
	show curpriv	現在の特権レベルを表示します。
	show running-config privilege	コマンドの特権レベルを表示します。

clear configure regex

すべての正規表現を削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure regex** コマンドを使用します。

clear configure regex

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン 特定の名前の正規表現を消去するには、**regex** コマンドの **no** 形式を使用します。

例 次の例では、設定済みの正規表現をすべて消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure regex
```

関連コマンド	コマンド	説明
	class-map type regex	正規表現クラス マップを作成します。
	regex	正規表現を作成します。
	show running-config regex	すべての正規表現を表示します。
	test regex	正規表現をテストします。

clear configure route

connect キーワードを含んでいないコンフィギュレーションから **route** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure route** コマンドを使用します。

```
clear configure route [interface_name ip_address [netmask gateway_ip]]
```

シンタックスの説明

<i>gateway_ip</i>	(オプション) ゲートウェイ ルータの IP アドレスを指定します (このルートのネクストホップアドレス)。
<i>interface_name</i>	(オプション) 内部または外部のネットワーク インターフェイス名。
<i>ip_address</i>	(オプション) 内部または外部のネットワーク IP アドレス。
<i>netmask</i>	(オプション) <i>ip_address</i> に適用するネットワーク マスクを指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>configure</i> が追加されました。

使用上のガイドライン

デフォルト ルートを指定するには、**0.0.0.0** を使用します。0.0.0.0 IP アドレスは **0** に、0.0.0.0 *netmask* は **0** に省略できます。

例

次の例では、**connect** キーワードを含んでいないコンフィギュレーションから **route** コマンドを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure route
```

関連コマンド

コマンド	説明
route	インターフェイスのスタティック ルートまたはデフォルト ルートを指定します。
show route	ルート情報を表示します。
show running-config route	設定されているルートを表示します。

clear configure route-map

すべてのルートマップを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure route-map** コマンドを使用します。

clear configure route-map

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン コンフィギュレーション内のすべての **route-map** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure route-map** コマンドを使用します。**route-map** コマンドは、あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を設定するために使用します。

個々の **route-map** コマンドを削除するには、**no route-map** コマンドを使用します。

例 次の例では、あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布する条件を削除する方法を示します。

```
hostname (config)# clear configure route-map
```

関連コマンド	コマンド	説明
	route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルートを再配布するための条件を定義します。
	show running-config route-map	ルートマップ コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure router

実行コンフィギュレーションからすべてのルータ コンフィギュレーション コマンドを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure router** コマンドを使用します。

```
clear configure router [ospf [id] | rip]
```

シンタックスの説明

<i>id</i>	(オプション) 指定した OSPF プロセス ID のコンフィギュレーション コマンドを消去します。ID を指定しないと、すべての OSPF プロセスのコンフィギュレーション コマンドが消去されます。
<i>ospf</i>	(オプション) コンフィギュレーションから OSPF コンフィギュレーション コマンドだけを削除することを指定します。
<i>rip</i>	(オプション) コンフィギュレーションから RIP コンフィギュレーション コマンドだけを削除することを指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear router コマンドが clear configure router コマンドに変更されました。
7.2(1)	コマンドに rip キーワードが追加されました。

例

次の例では、実行コンフィギュレーションから OSPF プロセス 1 に関連付けられたすべての OSPF コマンドを消去します。

```
hostname(config)# clear configure router ospf 1
```

次の例は、実行コンフィギュレーションから、RIP のルーティング プロセスに関連する、グローバル コンフィギュレーション モードのコマンドをすべて削除します。インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力した RIP コマンドは消去されません。

```
hostname(config)# clear configure router rip
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config router	グローバル ルータ コンフィギュレーション内のコマンドを表示します。

clear configure same-security-traffic

same-security-traffic コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure same-security-traffic** コマンドを使用します。

clear configure same-security-traffic

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、**same-security-traffic** コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname(config)# clear configure same-security-traffic
```

関連コマンド	コマンド	説明
	same-security-traffic	セキュリティ レベルの等しいインターフェイス間での通信を許可します。
	show running-config same-security-traffic	same-security-traffic のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure service-policy

サービス ポリシー コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで *clear configure service-policy* コマンドを使用します。

clear configure service-policy

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次に、*clear configure service-policy* コマンドの例を示します。

```
hostname(config)# clear configure service-policy
```

関連コマンド

コマンド	説明
show service-policy	サービス ポリシーを表示します。
show running-config service-policy	実行コンフィギュレーションに設定されているサービス ポリシーを表示します。
service-policy	サービス ポリシーを設定します。
clear service-policy	サービス ポリシーの統計情報を消去します。

clear configure sla monitor

実行コンフィギュレーションから **sla monitor** コマンドとサブコマンドを削除するには、グローバルコンフィギュレーションモードで **clear configure sla monitor** コマンドを使用します。

clear configure sla monitor [*sla-id*]

シンタックスの説明

sla-id (オプション)SLA オペレーションの ID。有効な値は 1 ～ 2147483647 です。

デフォルト

sla-id を指定しないと、SLA オペレーションのコンフィギュレーションがすべて消去されます。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、**sla monitor** コマンド、および SLA モニタ コンフィギュレーションモードの関連するコマンドと **sla monitor schedule** コマンド（存在する場合）を消去します。**track rtr** コマンドは、コンフィギュレーションから削除されません。

実行コンフィギュレーション内の **sla monitor** コマンドを表示するには、**show running-config sla monitor** コマンドを使用します。

例

次の例は、コンフィギュレーションからすべての **sla monitor** コマンドを消去します。

```
hostname(config)# clear configure sla monitor
```

次の例は、ID が 5 の SLA オペレーションに関連する **sla monitor** コマンドを消去します。

```
hostname(config)# clear configure sla monitor 5
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config sla monitor	実行コンフィギュレーション内の sla monitor コマンドを表示します。

clear configure smtps

コンフィギュレーションからすべての SMTPS コマンドを削除してデフォルト値に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure smtps** コマンドを使用します。

clear configure smtps

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、SMTPS コンフィギュレーションを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure smtps
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-configuration smtps	SMTPS の実行コンフィギュレーションを表示します。
	smtps	SMTPS 電子メール プロキシのコンフィギュレーションを作成または編集します。

clear configure smtp-server

SMTP サーバのコマンドと統計情報をすべて消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure smtp-server** コマンドを使用します。

clear configure smtp-server

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.1(1)	このコマンドがサポートされるようになりました。

使用上のガイドライン **clear configure smtp-server** コマンドは、**smtp** のコマンドと統計情報をすべて消去します。

例 次の例では、すべての **smtp-server** コマンドを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure smtp-server
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config smtp-server	現在の DHCP サーバ コンフィギュレーションを表示します。

clear configure snmp-map

SNMP マップ コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure snmp-map** コマンドを使用します。

clear configure snmp-map

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **clear configure snmp-map** コマンドは、SNMP マップ コンフィギュレーションを削除します。

例 次の例では、SNMP マップ コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname# clear configure snmp-map
```

関連コマンド	コマンド	説明
	class-map	セキュリティ アクションを適用する先のトラフィック クラスを定義します。
	deny version	特定のバージョンの SNMP を使用するトラフィックを拒否します。
	inspect snmp	SNMP アプリケーション検査をイネーブルにします。
	snmp-map	SNMP マップを定義し、SNMP マップ コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。

clear configure snmp-server

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) サーバをディセーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure snmp-server** コマンドを使用します。

clear configure snmp-server

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト このコマンドにデフォルト設定はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	セキュリティ アプライアンスでこのコマンドがサポートされるようになりました。

例 この例は、SNMP サーバをディセーブルにする方法を示しています。

```
hostname #clear snmp-server
```

関連コマンド	コマンド	説明
	snmp-server	SNMP を介してセキュリティ アプライアンスのイベント情報を提供します。
	show snmp-server statistics	SNMP サーバのコンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure ssh

実行コンフィギュレーションからすべての SSH コマンドを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ssh** コマンドを使用します。

clear configure ssh

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear ssh コマンドが clear configure ssh コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、コンフィギュレーションからすべての SSH コマンドを消去します。特定のコマンドを消去するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

例 次の例では、コンフィギュレーションからすべての SSH コマンドを消去します。

```
hostname(config)# clear configure ssh
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config ssh	実行コンフィギュレーション内の現在の SSH コマンドを表示します。
	ssh	指定したクライアントまたはネットワークからセキュリティ アプライアンスへの SSH 接続を許可します。
	ssh scopy enable	セキュリティ アプライアンス上でセキュア コピー サーバをイネーブルにします。
	ssh timeout	アイドル状態の SSH セッションのタイムアウト値を設定します。
	ssh version	セキュリティ アプライアンスが SSH Version 1 または SSH Version 2 のいずれかだけを使用するように制限します。

clear configure ssl

コンフィギュレーションからすべての SSL コマンドを削除してデフォルト値に戻すには、グローバル コンフィギュレーションモードで **clear config ssl** コマンドを使用します。

clear config ssl

デフォルト

デフォルトは次のとおりです。

- SSL クライアントおよび SSL サーバのバージョンは両方とも **any** です。
- SSL 暗号化は、3des-sha1 | des-sha1 | rc4-md5 の順序です。
- トラストポイント アソシエーションはありません。セキュリティ アプライアンスはデフォルトの RSA キー ペア証明書を使用します。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、**clear config ssl** コマンドの使用方法を示します。

```
hostname(config)# clear config ssl
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ssl	現在設定されている ssl コマンドのセットを表示します。
ssl client-version	セキュリティ アプライアンスがクライアントとして動作する場合に使用する SSL プロトコルおよび TLS プロトコルのバージョンを指定します。
ssl server-version	セキュリティ アプライアンスがサーバとして動作する場合に使用する SSL プロトコルおよび TLS プロトコルのバージョンを指定します。
ssl trust-point	インターフェイスの SSL 証明書を表す証明書トラストポイントを指定します。

clear configure static

コンフィギュレーションからすべての **static** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure static** コマンドを使用します。

clear configure static

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード <i>configure</i> が追加されました。

例 次の例では、コンフィギュレーションからすべての **static** コマンドを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure static
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config static	コンフィギュレーション内のすべての static コマンドを表示します。
static	ローカル IP アドレスをグローバル IP アドレスにマッピングすることによって、固定の 1 対 1 のアドレス変換規則を設定します。

clear configure sunrpc-server

セキュリティ アプライアンスからリモート プロセッサ コール サービスを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure sunrpc-server** コマンドを使用します。

clear configure sunrpc-server [active]

シンタックスの説明	active	(オプション) セキュリティ アプライアンスで現在アクティブな SunRPC サービスを指定します。
------------------	---------------	--

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	既存	このコマンドは既存のものです。

使用上のガイドライン sunrpc-server コマンドは、設定された **router ospf** コマンドを表示します。



(注)

セキュリティ アプライアンス上で最上位の IP アドレスがプライベート アドレスの場合、このアドレスは hello パケットおよびデータベース定義で送信されます。このアクションを防止するには、**router-id ip_address** をグローバル アドレスに設定します。

例 次の例では、セキュリティ アプライアンスから SunRPC サービスを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure sunrpc-server active
```

関連コマンド	コマンド	説明
	sunrpc-server	SunRPC サービス テーブルを作成します。
	show running-config sunrpc-server	SunRPC コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure sysopt

すべての **sysopt** コマンドのコンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure sysopt** コマンドを使用します。

clear configure sysopt

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear sysopt がこのコマンドに変更されました。

例 次の例では、すべての **sysopt** コマンドのコンフィギュレーションを消去します。

```
hostname(config)# clear configure sysopt
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config sysopt	sysopt コマンドのコンフィギュレーションを表示します。
	sysopt connection permit-ipsec	ACL でインターフェイスをチェックせずに IPSec トンネルからのすべてのパケットを許可します。
	sysopt connection tcpmss	TCP セグメントの最大サイズを上書きします。または、最大サイズが指定したサイズよりも小さくならないようにします。
	sysopt connection timewait	最後の標準 TCP クローズダウン シーケンスの後、各 TCP 接続が短縮 TIME_WAIT 状態を保持するようにします。
	sysopt nodnsalias	alias コマンドを使用するときに、DNS の A レコードアドレスの変更をディセーブルにします。

clear configure tcp-map

tcp マップ コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure tcp-map** コマンドを使用します。

clear configure tcp-map

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、TCP マップ コンフィギュレーションを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure tcp-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
tcp-map	TCP マップを作成し、tcp マップ コンフィギュレーション モードにアクセスできるようにします。
show running-config tcp-map	TCP マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure telnet

コンフィギュレーションから Telnet 接続およびアイドル タイムアウトを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure telnet** コマンドを使用します。

clear configure telnet

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	キーワード <i>configure</i> が追加されました。

例 次の例では、セキュリティ アプライアンスのコンフィギュレーションから Telnet 接続およびアイドル タイムアウトを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure telnet
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config telnet	セキュリティ アプライアンスへの Telnet 接続の使用を認可されている IP アドレスの現在のリストを表示します。
	telnet	Telnet アクセスをコンソールに追加し、アイドル タイムアウトを設定します。

clear configure terminal

端末の表示幅設定を消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで *clear configure terminal* コマンドを使用します。

clear configure terminal

シンタックスの説明 このコマンドには、キーワードも引数もありません。

デフォルト デフォルトの表示幅は 80 カラムです。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	<i>configure</i> キーワードが追加されました。

例 次の例では、表示幅を消去します。

```
hostname# clear configure terminal
```

関連コマンド

コマンド	説明
terminal	端末回線のパラメータを設定します。
terminal width	端末の表示幅を設定します。
show running-config terminal	現在の端末設定を表示します。

clear configure timeout

コンフィギュレーションのデフォルトのアイドル状態の継続時間に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure timeout** コマンドを使用します。

clear configure timeout

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	既存	このコマンドは既存のものです。

例 次の例では、コンフィギュレーションからアイドル状態の最大継続時間を削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure timeout
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config timeout	指定したプロトコルのタイムアウト値を表示します。
	timeout	アイドル状態の最大継続時間を設定します。

clear configure time-range

設定されているすべての時間範囲を消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure time-range** コマンドを使用します。

clear configure time-range

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例では、設定されているすべての時間範囲を消去します。

```
hostname(config)# clear configure time-range
```

関連コマンド

コマンド	説明
time-range	時間範囲コンフィギュレーション モードに入り、トラフィック規則または動作に添付できる時間範囲を定義します。

clear configure tunnel-group

コンフィギュレーションからすべてのまたは指定したトンネル グループを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear config tunnel-group** コマンドを使用します。

clear config tunnel-group [*name*]

シンタックスの説明

name (オプション) トンネル グループの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

グローバル コンフィギュレーション モードで入力した次の例では、コンフィギュレーションから toengineering トンネル グループを削除します。

```
hostname(config)# clear config tunnel-group toengineering
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config tunnel-group	すべてのまたは選択したトンネル グループに関する情報を表示します。
tunnel-group	指定したタイプのトンネル グループ サブコンフィギュレーション モードに入ります。

clear configure tunnel-group-map

clear configure tunnel-group-map コマンドは、証明書の内容からトンネル グループ名が生成されるときに使用されるポリシーおよび規則を消去します。

clear configure tunnel-group-map

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン tunnel-group-map コマンドは、証明書ベースの IKE セッションをトンネル グループにマップするポリシーと規則を設定します。 **crypto ca certificate map** コマンドを使用して作成された証明書マップ エントリをトンネル グループに関連付けるには、グローバル コンフィギュレーション モードで **tunnel-group-map** コマンドを使用します。各呼び出しが一意であり、マップ インデックスを 2 回以上参照しない限り、このコマンドを複数回実行できます。

crypto ca certificate map コマンドは、証明書マッピング規則の優先順位付きリストを管理します。定義できるマップは 1 つのみです。ただし、このマップで 65,535 個までの規則を保持できます。詳細については、**crypto ca certificate map** コマンドのマニュアルを参照してください。

証明書からトンネル グループ名を取得する処理は、トンネル グループに関連付けられていない証明書マップのエントリを無視します（どのマップ規則もこのコマンドでは識別されません）。

例 次の例はグローバル コンフィギュレーション モードで入力され、他の設定済みメソッドで名前を取得できない場合に使用されるデフォルトのトンネル グループを指定します。使用するトンネル グループの名前は、group1 です。

```
hostname(config)# clear configure tunnel-group-map
hostname(config)#
```


関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca certificate map	crypto ca 証明書マップ モードに入ります。
subject-name (暗号 CA 証明書マップ)	規則エントリ文字列との比較対象となる、CA 証明書に含まれている DN を指定します。
tunnel-group-map default-group	既存のトンネルグループ名をデフォルト トンネルグループとして指定します。
tunnel-group-map enable	証明書ベースの IKE セッションをトンネルグループにマップするポリシーと規則を設定します。

clear configure url-block

URL 保留ブロック バッファおよび長い URL サポート コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure url-block** コマンドを使用します。

clear configure url-block

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure url-block コマンドは、URL 保留ブロック バッファおよび長い URL サポート コンフィギュレーションを消去します。

例

次の例では、URL 保留ブロック バッファおよび長い URL サポート コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname# clear configure url-block
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-block block statistics	ブロック バッファ使用状況カウンタを消去します。
show url-block	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
url-block	Web サーバの応答に使用される URL バッファを管理します。
url-cache	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure url-cache

URL キャッシュを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure url-cache** コマンドを使用します。

clear configure url-cache

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **clear configure url-cache** コマンドは、URL キャッシュを消去します。

例 次の例では、URL キャッシュを消去します。

```
hostname# clear configure url-cache
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear url-cache statistics	コンフィギュレーションから url-cache コマンド文を削除します。
	filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに向けて送ります。
	show url-cache statistics	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
	url-cache	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
	url-server	scsc コマンド用の N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure url-list

WebVPN ユーザがアクセスできる設定済みの URL のセットを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure url-list** コマンドを使用します。設定済みの URL をすべて削除するには、このコマンドを *listname* 引数なしで使用します。特定のリストの URL だけを削除するには、このコマンドに *listname* を付けて使用します。

clear configure url-list [*listname*]

シンタックスの説明

<i>listname</i>	WebVPN ユーザがアクセスできる URL のセットをグループ化します。最大 64 文字です。
-----------------	--

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次の例では、*Marketing URLs* という名前の URL リストを削除する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure url-list Marketing URLs
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-configuration url-list	現在設定されている url-list コマンドのセットを表示します。
url-list	WebVPN ユーザがアクセスできる URL のセットを設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードでこのコマンドを使用します。
url-list	特定のグループ ポリシーまたはユーザの WebVPN URL アクセスをイネーブルにするには、グループ ポリシーまたはユーザ名モードからアクセスする WebVPN モードでこのコマンドを使用します。

clear configure url-server

URL フィルタリング サーバ コンフィギュレーションを消去するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure url-server** コマンドを使用します。

clear configure url-server

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure url-server コマンドは、URL フィルタリング サーバ コンフィギュレーションを消去します。

例

次の例では、URL フィルタリング サーバ コンフィギュレーションを消去します。

```
hostname# clear configure url-server
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-server	URL フィルタリング サーバの統計情報を消去します。
show url-server	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
url-cache	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
url-block	フィルタリング サーバからのフィルタリング決定を待っている間、Web サーバの応答に使用される URL バッファを管理します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure username

ユーザ名データベースを消去するには、**clear configure username** コマンドを使用します。特定のユーザのコンフィギュレーションを消去するには、このコマンドを使用し、ユーザ名を付加します。

clear configure username [*name*]

シンタックスの説明

name (オプション) ユーザの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

内部ユーザ認証データベースは、**username** コマンドを使用して入力されたユーザで構成されています。**login** コマンドは、このデータベースを認証用に使用します。

例

次の例では、**anyuser** という名前のユーザのコンフィギュレーションを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure username anyuser
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config username	特定のユーザまたはすべてのユーザの実行コンフィギュレーションを表示します。
username	ユーザをセキュリティ アプライアンスのデータベースに追加します。
username attributes	特定のユーザの AVP を設定できます。

clear configure virtual

コンフィギュレーションから認証仮想サーバを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure virtual** コマンドを使用します。

clear configure virtual

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	CLI ガイドラインに沿うように、このコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン 元に戻すことはできません。

例 次に、**clear configure virtual** コマンドの例を示します。

```
hostname(config)# clear configure virtual
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config virtual	認証仮想サーバの IP アドレスを表示します。
	virtual http	セキュリティ アプライアンスと HTTP サーバでの別々の認証を可能にします。
	virtual telnet	セキュリティ アプライアンスが認証プロンプトを提供しないトラフィック タイプの仮想 Telnet サーバを使用してユーザを認証します。

clear configure vpdn group

コンフィギュレーションからすべての **vpdn group** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure vpdn group** コマンドを使用します。

clear configure vpdn group

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure vpdn group コマンドを入力しても、アクティブな PPPoE 接続には何も影響ありません。

例

次の例は、vpdn group コンフィギュレーションを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure vpdn group
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure vpdn username	すべての vpdn username コマンドをコンフィギュレーションから削除します。
show running-config vpdn username	VPDN ユーザ名の現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure vpdn username

コンフィギュレーションからすべての **vpdn username** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーションモードで **clear configure vpdn username** コマンドを使用します。

clear configure vpdn username

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **clear configure vpdn username** コマンドを入力しても、アクティブな PPPoE 接続には影響がありません。

例 次の例は、vpdn username コンフィギュレーションを消去する方法を示します。

```
hostname(config)# clear configure vpdn username
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear configure vpdn group	コンフィギュレーションからすべての vpdn group コマンドを削除します。
	show running-config vpdn username	VPDN ユーザ名の現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure vpn-load-balancing

以前に指定した VPN ロードバランシング コンフィギュレーションを削除して、VPN ロードバランシングをディセーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure vpn load-balancing** コマンドを使用します。

clear configure vpn load-balancing

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **clear configure vpn load-balancing** コマンドは、**cluster encryption**、**cluster ip address**、**cluster key**、**cluster port**、**nat**、**participate**、および **priority** などの関連コマンドも消去します。

例 次のコマンドは、コンフィギュレーションから VPN ロードバランシング コンフィギュレーション文を削除します。

```
hostname(config)# clear configure vpn load-balancing
```

関連コマンド	show running-config load-balancing	現在の VPN ロードバランシング コンフィギュレーションを表示します。
	vpn load-balancing	VPN ロードバランシング モードに入ります。

clear configure wccp

すべての WCCP コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure wccp** コマンドを使用します。

```
clear configure wccp
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例 次の例は、WCCP コンフィギュレーションを表示する方法を示しています。

```
hostname(config)# clear configure wccp
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show wccp	WCCP のコンフィギュレーションを表示します。
	wccp redirect	WCCP リダイレクションのサポートをイネーブルにします。

clear configure zonelabs-integrity

実行コンフィギュレーションからすべての Zone Labs Integrity サーバを削除するには、グローバルコンフィギュレーションモードで **clear configure zonelabs-integrity** コマンドを使用します。

clear configure zonelabs-integrity

シンタックスの説明 このコマンドには、引数もキーワードもありません。

デフォルト すべての Zone Lab Integrity サーバを削除します。

コマンドモード 次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴	リリース	変更内容
	7.2.(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **clear configure zonelabs-integrity** コマンドは、実行コンフィギュレーションからすべての Zone Labs Integrity サーバ（アクティブとスタンバイを含む）を削除します。

例 次の例では、2つの設定済みの Zone Labs Integrity サーバを削除します。

```
hostname(config)# show running-config zonelabs-integrity
zonelabs-integrity server-address 10.0.9.1 10.0.9.2
hostname(config)# clear configure zonelabs-integrity
hostname(config)# show running-config zonelabs-integrity
hostname(config)#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show running-config [all] zonelabs-integrity	設定されている Zone Labs Integrity サーバを表示します。